

# 座談会 大切な子どもたちを地域ぐるみ



## 子どもたちを見守るために

金子

四小ではPTAと学校が連携しながら子どもたちの登下校の安全確保を進めています。

通常は、見守りボランティアの活動が中心で、自転車かごにつけるパトロール用ステッカー、腕章、老人クラブに配布した首かけ式のパトロールステッカーなどのグッズを活用しています。

また、緊急時には各見守り場所に立番を協力していただくなどしています。現在登録がまだまだ少ないのですが、

今後もPRや募集を絶やさずに行きたいと思っています。

また、PTA便りや町会向け回覧を活用して、地域の方々に散歩・玄関掃除・井戸ばた会議時での、見守りを呼びかけています。



山田

六小での正式名称では「六小防犯組織」といいます。学校から不審者情報が登録した家庭のパソコンに流れてくる「メール隊」、日ごろからステッカーをつけて回っていただく「安全パトロール隊」、各家庭にご協力いただいている「子ども110番の家」の3本が中心の活動です。これまで負担のない参加を心がけてきたのですが、関心が薄れないためにも四小のような見守り体制を整えるよう、検討していきたいですね。

鈴木

少しでも多くの参加を集めるため、防犯に関心が高い低学年の保護者の集まりに出かけ協力依頼をしています。

## 地域の高齢者の方々にも協力を

山田

現在、地域全体で協力して取り組んでいますが、お手伝いだけそうな方たちとの連携がまだまだ密にはなっていないようです。できれば、メール情報が地域の高齢者にも伝わるようする事で、見守りに参加していただくなど、これからの地域での高齢者の役割はとても重要になってくると思います。

金子

地域安全マップづくりのときに地域から多くの方が参加してくれました。今後、こうした機会を増やし、日中、家にいる世代とのつながりをもっと増やしたいですね。

これから定年になる団塊の世代の方にも参加してほしいし、こうした見守りボランティアの仕事が「誇り」になっていたような意義付けをしていくのが大事だと思います。

また、町会の方が積極的に見守りに参加してくださるときに、町会の方に保護者が無関心と言われないように、保護者側も積極的に関わるよう心がけることも大事ですね。

## 子どもと大人のかかわりをどう築くか

司会 子どもとの信頼関係はどう築いていったら良いでしょうか。